

2022年度

子どもセンターぱお

子どもセンターぱお分館 WAAAO

事業報告集

子どもセンターぱお

「ぱお」は「ばあん」「つるっこ」に次いで市内で3館目となる子どもセンターで、2009年4月にオープンしました。

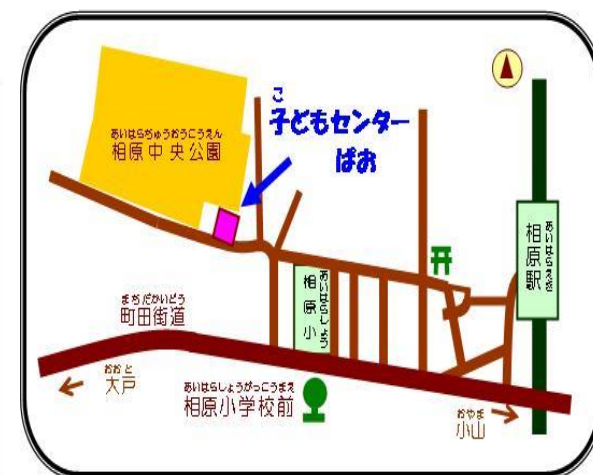
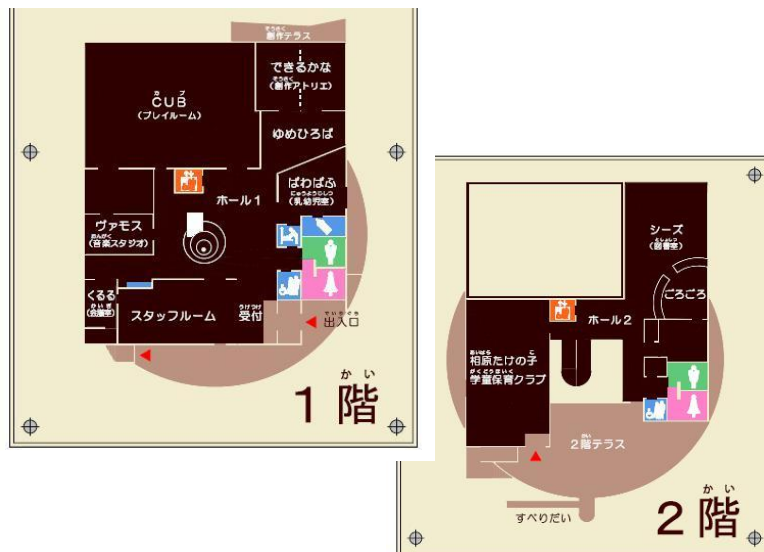
館名の「ぱお」は、モンゴルの草原に設営される遊牧民のテント様式の住居「パオ（包）」に由来し、緑豊かな相原中央公園に隣接したたたずまいが似ているそうです。また「パオ（包）」は旅人がいつでも立ち寄れるようになっていところから、「誰でも自由に遊べ、みんなを優しく受け入れる子どもセンターになるように」と願って地元の中学生から提案があり、地域の皆さんで相談して決めました。

ぱお分館 WAAAO は 2015 年 12 月に開館し、主に乳幼児親子から小学生が集える、遊べる、くつろげる施設です。また、図書館サービスを行っています。



＜施設プロフィール＞

住所	町田市相原町 2025-2
電話番号	042-775-5258
FAX 番号	042-775-5708
建物構造	鉄筋コンクリート造 2階建
延床面積	1179.02 m ²
敷地面積	2167.00 m ²
開館日	2009年4月5日

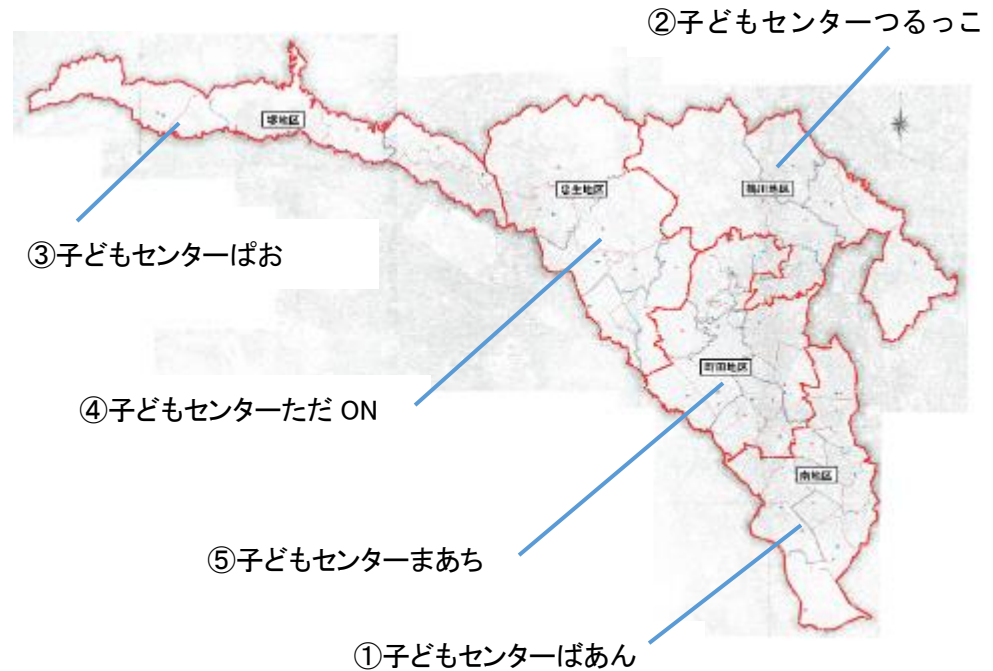


町田市では、「町田市子どもセンター基本構想」に基づき、南・鶴川・堺・忠生・町田の5地区に子どもセンターを整備し終えた。2016年4月に5館目のまあちが町田地区に開館し、5館すべての子どもセンターがオープンを果たした。

子どもセンターの建設に際しては、地域住民の代表、関係機関および団体の代表、そして有識者からなる「基本計画検討委員会」を設置し、「立地条件」「コンセプト」「主要諸室」等の検討結果を基に基本計画を策定している。そのことにより、それぞれ地域特性や地域住民の意見を反映した、特色ある子どもセンターが整備されている。

また、各地域の青少年健全育成地区委員会を中心とした「運営準備委員会」が、建設準備段階から関わり、協働して整備を進めていることが特徴である。

「子ども委員会」は開館後も引き続き活動し、館のルール作りやイベントの企画・運営等、主体的に子どもセンターの運営に関わっている。



開館年	子どもセンター名/開館日	地区
1999	①子どもセンターばあん開館 5/5	南地区
2005	②子どもセンターつるっこ開館 4/17	鶴川地区
2009	③子どもセンターぱお開館 4/5	堺地区
2014	④子どもセンターただON開館 1/26	忠生地区
2015	子どもセンターぱお分館開館 12/24	堺地区
2016	⑤子どもセンターまあち開館 4/30	町田地区

町田市「子どもセンター」年表

全=全体に関わること、ば=ばあんに関わること、つ=つるっこに関わること、ぱ=ぱおに関わること、た=ただ ON に関わること、ま=まあちに関わること

- 全 1994年 10月 ● 子どもセンターを所管する部署として青少年課を新設 [1日]
- 全 1995年 5月 ● 町田市子どもセンター建設計画検討委員会が発足
- 全 1996年 3月 ● 建設計画検討委員会より「町田市子どもセンター（仮称）のあり方について」の答申がなされ、市はこれを基本構想とし各地域（旧5ヶ町村）に建設すべく準備を始める。（町田市子どもセンター五館構想） [28日]
- 全 1996年 5月 ● 【子ども元年開幕】 “町田市子ども憲章” 制定
町田市青少年健全育成都市宣言30周年記念イベント実施 [11日]
- 全 1996年 10月 ● 青少年課内 子どもセンタープロジェクト 設置
- ば 1997年 12月 ● 「子どもセンター1号館」建設計画を議会にて承認
- ば 1998年 1月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」新築工事着工 [24日]
- ば 1998年 4月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」運営準備委員会発足 [18日]
- ば 1998年 5月 ● （仮称）「子どもセンター1号館」子ども委員会発足 [16日]
- 6月 ● 第1回中高生委員会 [27日]
- ば 1998年 7月 ● 子どもセンター色彩計画 [17日]
※子ども達の本来の遊び場である“自然”を連想させる“森”のイメージをコンセプトに配色。ポイントごとに淡いブルー（海・空）オレンジ（太陽）を配することにより視覚的な変化で、高揚感をあおるとともに楽しさを予感させる色彩計画となった
- ば 1998年 7月 ● 運営準備委員会が組織化される。それにともない専門部会活動始める [18日]
- ば 1998年 11月 ● 中高生の意見を聞く会 実施 [8日]
- ば 1998年 12月 ● 建設現場見学会後中高生委員会開催。館名・各部屋の名前・ロゴマーク原案決める [12日]
- ば 1998年 12月 ● 名前・ロゴマーク選考委員会開催。中高生委員会の選考作品に正式決定 [19日]
- ば 1999年 1月 ● 名称「子どもセンターばあん」及びロゴマークが発表される [16日]
子ども委員会開館時間午前10時～午後9時までについて検討
- ば 1999年 3月 ● 町田市子どもセンター条例 市議会に上程
夜間開館について職員をつけることが付帯され議決

- ば 1999年 3月 ● 子どもセンターばあん竣工〔24日〕
- ば 1999年 5月 ● 子どもセンター1号館「ばあん」が南地区にオープン〔5日〕
- つ 2001年 9月 ● 鶴川三地区の青少年健全育成地区委員会を母体として「準備委員会」発足
- ば 2001年 ● 市政懇談会で3号館として相原に子どもセンターの建設を要望
- つ 2002年 1月 ● 鶴川中学校跡地に建設地が確定
- つ 2002年 5月 ● 「鶴川子どもセンター検討委員会」発足
- つ 2002年 6月 ● (仮称)鶴川子どもセンター「子ども準備委員会」発足
- ば 2003年 ● 相原子どもセンター誘致委員会を「相原子どもセンター運営準備委員会」に改称
- つ 2004年 1月 ● (仮称)「鶴川子どもセンター」新築工事着工
- つ 2004年 12月 ● 「子どもセンターつるっこ」と名称が正式決定
- ば 2004年 ● (仮称)相原子どもセンター基本構想検討
- つ 2005年 3月 ● 子どもセンターつるっこ竣工
- つ 2005年 4月 ● 子どもセンター2号館「つるっこ」が鶴川地区にオープン〔17日〕
- た 2006年 6月 ● 地元関係者(忠生第一地区から第六地区までの青少年健全育成地区委員会、青少年委員、忠生地区の小中学校PTA、町内会等)により(仮称)忠生地区子どもセンター建設準備委員会発足。
- ば 2007年 ● 2005年に発覚した構造計算書偽造問題(姉歯事件、耐震偽装)を受けて、2006年に建築基準法の改正があったため、構造について再計算を行わなければならないとなり、工事着工が半年延期されることとなる。
- ば 2008年 1月 ● (仮称)「相原子どもセンター」新築工事着工〔31日〕
- ば 2008年 12月 ● 「子どもセンターばお」と名称が正式決定
- ば 2009年 2月 ● 子どもセンターばお 竣工〔27日〕
- ば 2009年 4月 ● 子どもセンター3号館「ばお」が堺地区にオープン〔5日〕
- た 2009年 11月 ● (仮称)忠生地区子どもセンター基本計画検討委員会発足。
- た 2010年 10月 ● (仮称)忠生地区子どもセンター基本計画(案)をまとめる。
- た 2011年 4月 ● 「T・H・D!!!」(子ども委員会)発足。
(「T・H・D!!!」とは「ともだち・ひやくにん・できるかな」の略。3つの!!!は「こども・おとな・ちいき」を表現)
- ま 2011年 7月 ● (仮称)町田地区子どもセンター建設準備委員会発足
- ま 2012年 10月 ● (仮称)町田地区子どもセンター基本計画検討委員会
- た 2012年 11月 ● (仮称)「忠生地区子どもセンター」新築工事着工

- ま 2013年 1月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター子ども委員会発足
- ま 2013年 2月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本計画検討委員会の中間報告を踏まえ、建設地が決定。
- ま 2013年 3月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本計画(案)をまとめる。同年5月に策定。
- た 2013年 7月 ● 「子どもセンターただON」と名称が正式決定
- ま 2013年 8月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター基本・実施設計を開始。
- た 2014年 1月 ● 子どもセンターただON 竣工
- た 2014年 1月 ● 子どもセンター4号館「ただON」が忠生地区にオープン [26日]
- ま 2014年 12月 ● (仮称) 町田地区子どもセンター着工 [22日]
- ま 2015年 12月 ● 「子どもセンターまあち」と名称が正式決定
- ぱ 2015年 12月 ● 「子どもセンターばお分館 WAAAO」が堺地区にオープン [24日]
- ま 2016年 2月 ● 子どもセンターまあち 竣工 [12日]
- ま 2016年 4月 ● 子どもセンター5号館「まあち」が町田地区にオープン [30日]

2022年度 子どもセンターぱお利用状況

	乳幼児	小学生	中学生～18才	保護者	見学・視察	合計
2022年4月	418	898	738	701	80	2,835
2022年5月	373	958	525	638	62	2,556
2022年6月	482	1,092	573	712	81	2,940
2022年7月	666	1,307	849	1,086	179	4,087
2022年8月	569	853	554	754	94	2,824
2022年9月	523	1,011	469	738	62	2,803
2022年10月	699	1,224	618	969	135	3,645
2022年11月	601	1,349	456	915	101	3,422
2022年12月	550	1,106	554	696	71	2,977
2023年1月	539	915	434	680	56	2,624
2023年2月	541	777	552	638	53	2,561
2023年3月	717	1,370	738	1,031	14	3,870
合計	6,678	12,860	7,060	9,558	988	37,144

2022年度 子どもセンターぱお分館WAAAO利用状況

	乳幼児	小学生	中学生～18才	保護者	図書	見学・視察	合計
2022年4月	314	346	1	282	101	38	1,082
2022年5月	370	236	0	361	121	39	1,127
2022年6月	442	318	1	420	112	60	1,353
2022年7月	519	301	1	457	124	47	1,449
2022年8月	510	393	1	463	136	52	1,555
2022年9月	448	382	0	444	123	48	1,445
2022年10月	392	389	1	394	105	55	1,336
2022年11月	448	338	2	454	117	55	1,414
2022年12月	391	308	1	418	116	45	1,279
2023年1月	357	280	0	359	119	53	1,168
2023年2月	376	244	1	402	121	48	1,192
2023年3月	568	373	0	540	133	79	1,693
合計	5,135	3,908	9	4,994	1,428	619	16,093

子どもセンターぱお

<1>子育て支援事業

【定期事業】

＜自由参加＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
ばわばふたいむ 【共催】堺地域子育て 相談センター	【新・町田市子どもマスタープラン(後期)】 より ・コミュニケーション能力をのばす ・子育ての相談・支援の充実 ・体験活動ができる場の充実	・親子体操 ・手遊び ・おはなし ・週代わりのプログラム(ゲーム・工 作・誕生会 等)	未就学児とその保 護者	毎週金曜日 午前11時～11時30分	42回	876名	今年度は、利用者ニーズがあったこともあり、ばわばふたいむ担当以外の職員の協力を得て、季節の行事に力を入れた。7月は七夕、10月はハロウィン、12月はクリスマス、2月は節分などを実施した。家庭によっては季節の行事を省略してしまう場合も考えられる事や家庭のものは違った雰囲気子ども達に体験してもらえた事はとても有意義な内容だったと思えた。参加者親子が、たのしさや感動を共感する様子も見られた。また、普段接することが少ない職員とのふれあいがあり、関係が生まれることで、継続的な来館のきっかけとなった。
おはなしアイアイ 【協力】おはなしアイ アイ	【新・町田市子どもマスタープラン(後期)】 より ・体験活動ができる場の充実 ・地域連携・人材育成の推進	・紙芝居 ・絵本の読み聞かせ ・季節の歌 ・手遊び	未就学児とその保 護者	第2金曜日 午前10時30分～10時 50分	12回	105名	ボランティアグループ「おはなしアイアイ」の皆さんが、やさしい語り口調で進めてくださるお話会。 昔から親しまれている歌や手遊び、子どもたちが好きなアンパンマンの絵本など、工夫された内容で、親子で心温まるひと時を過ごすことができた。 参加者同士やボランティアの方との交流の場となった。
ピーカーブー 【共催】堺地域子育て 相談センター	【新・町田市子どもマスタープラン(後期)】 より ・子育ての相談・支援の充実 ・体験活動ができる場の充実	・ふれあい遊び ・赤ちゃん紹介、交流 ・手形スタンプ ・おもちゃ作り	0歳児とその保護 者	第2月曜日、第4木曜 日 午前11時～11時45分	20回	286名	乳児とのよりよい関わり方を学ぶ場の提供として、今年度は「マザリーズ」、「リラクゼーション」、「離乳食」などの育児講座を取り入れて実施した。また、毎回の交流の時間では、先輩ママから新米ママへ、いろいろなコメントが飛び交い、ママ同士の交流で育児不安の軽減につながっている様子が見られた。段々とリピーターが増え、継続的な来館のきっかけとなっているようで、子育てスタート期の居場所づくりができた。
ぐるぐるリユースたい む	【新・町田市子どもマスタープラン(後期)】 より ・子育ての相談・支援の充実	・古着の回収、配布(50～120cmの もの) ・子育て互助の場づくり	未就学児の保護 者	配布日： ばわばふたいむ誕生 会実施日(第1金曜 日)、ピーカーブー実 施日(第2月曜日)	23回	165名	年度初めから段々と古着の回収量が増え、昨年度に比べてたくさんの配布ができた。回収、配布の量が増え、多くの「助かります」の声をいただいた。成果として、地域互助による子育て支援の促進となっている。

【不定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ベビー用リユース品 「回収会・配布会」 【主催】3R推進課	・子どもに関わる他課連携事業	・3R推進課による、不要になったベビー用品・育児用品の回収・配布	配布会 どなたでも 回収会 市内在住の方のみ	配布会 10/30(日) 午後1時～3時 回収会 11/5(土) 午前11時～午後2時	なし	73名	回収会や配布会のために初めてはおを訪れた人も多く、特に配布会は盛況だった。子どもも大人も欲しいものを楽し気に探していて、館内全体がにぎやかで楽しい雰囲気となっていた。 当事業で初めて子どもセンターばおへ来たという方にはばおのPR・来館のきっかけには十分になっていた。
<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ベビーマッサージ 【協力】地域ボランティア	【新・町田市子どもマスタープラン(後期)】より ・コミュニケーション能力をのばす ・子育ての相談・支援の充実	・マッサージによるスキンシップ ・親子同士でのコミュニケーション	2か月～8か月の乳児とその保護者	5/16、6/20、10/17、11/21、(いずれも月) 午前11時～11時30分	なし	27名	講師との会話や参加者同士の会話の様子から、保護者の育児不安が軽減されていると感じられた。両親が参加された回もあり、参加した父親は「子どもと向きあって何かできるのは週1回くらいでしたが、マッサージは毎日してあげたいと思う」とコメントされ、子育ての支援の充実につながっていた。
おしゃべりクッキング 【共催】スターキッズ (ひだまり)	【新・町田市子どもマスタープラン(後期)】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	・地域ボランティアの方との交流 ・親子での調理 ・楽しく会食 9月「お月見だんご」 2月「おひなさまクレープ」	未就学児とその保護者	9/26(月)、2/27(月) ①午前11時～11時30分 ②午前11時40分～午後0時10分 ③午後0時20分～0時50分	9/26 100円 2/27 60円	11名	コロナ禍により年度途中からの開催となる。周知が行き渡っていないようで、参加者は少なかった。楽しそうな親子同士の会話から、親子で体験し、満足を共感している様子が見られた。また、保護者とボランティアとの会話も弾み、ひな祭りなどの季節の行事について伝統が伝えられていくなど、地域の方達の活躍も見られた。
保育園・幼稚園等の 選び方講座 【主催】保育幼稚園課	・子どもに関わる他課連携事業	①町市内の教育・保育施設の種類のについて ②園の選び方	第一子またはお子さんを初めて保育施設に預けたい保護者	6/15(水) 午前10時30分～正午	なし	7名	町市内の保育園等の種類や園の選び方、見学のポイントなどについて講座を行う。参加の母親は全員育休中で、父親の参加もあり、真剣に話を聞いていた。質問タイムでは参加組数が少なかったことで個別対応もでき、参加者の心配事や疑問に答える事ができていた。
<イベント>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
		・水遊び	幼児	8/6(土) 午前10時30分～正午		9名	参加の親子は少なかったものの、それぞれのコーナーで存分に水遊びを体験していた。水鉄砲やじょうろ、金魚すくいが人気で、職員に水鉄砲の使い方を教わったり、金魚すくいコーナーがお店に変身して職員とのやり取りを楽しんだりしていた。初めて会った子ども同士の交流もみられ、保護者同士の会話のきっかけとなっていた。

夏事業(自由参加)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	・いつでも工作 ①ホバーキャット ②親子で手形スタンプ	未就学児とその保護者	夏休み期間中	なし	①25名 ②20名	「ホバーキャット」 厚紙に好きなお絵描きをして、エアークッションを付け、画用紙で作ったネコを立たせると「ホバーキャット」の出来上がり。出来上がったネコをスーッと滑らすとどの子どもも嬉しそうな笑顔を見せた。何度も滑らせてあそぶ子もいて、作って遊ぶ体験が見られた。 「親子で手形スタンプ」 色紙大の白画用紙に、親子で手形をスタンプし、ポスターカラーや指スタンプで自由にデザインして作品を作った。デザインを考えた色を選んだりなど、考えながら作業する様子や楽しそうな親子のコミュニケーションが見られた。
-----------	--	-----------------------------------	------------	--------	----	--------------	--

【出張不定期事業】

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
パパと遊ぼう！ 【共催】堺地域子育て相談センター・子どもセンターぱお分館 WAAAO 【協力】小山子どもクラブさん	【子育て推進課実施起案】より 父親の育児参加と父親同士の交流のきっかけをつくる	・父子の交流あそび「手遊び・ゲームなど」 ・父同士の情報交換「パパミーティング」 ・子どもセンター・分館・子どもクラブ・堺子育て支援センターなどの情報発信	未就学児とその父親 (希望があれば母の付き添い可)	9/19((月・祝) 午前10時～11時30分	なし	36名	堺地域(ぱお、ぱお分館、堺地域子育て相談センター、子どもクラブさん)の4施設が共同で父親の育児参加促進プログラムとして実施した。ふれあい遊びやレクリエーションでは、親子で遊びを楽しんでいた。パパミーティングでは、父親同士が育児のヒントや情報を共有し合って今後へとつなげていく様子が見られた。 後日参加していたお父さんが「普段は妻が連れてくるのですが」と子どもと二人で子どもセンターを利用しており、父親の育児参加のきっかけとなったことがうかがえた。

<2>子育て支援事業

【定期事業】

<定例活動>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
子ども委員会	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をのぼす ・自分の意見を発信できる場や機会の確保 ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもセンター内のルールについての話し合い ・イベントに向けての話し合い ・運営委員会への出席、司会 ・子ども委員のお楽しみ企画 	小学3年生～18歳	第2、第4土曜日 午後2時から4時 他イベント開催時 4/17(日)、7/30(日)	26回	102名	小学生から中学1年生のメンバーを中心に活動を進めた。「ばおをもっと楽しく」という思いと「子ども委員会のPRをしてメンバーを増やしたい」という思いで「みんなで遊ぼう」「みんなで作るう」のプログラムを子ども委員会企画で実施した。 また、CUBのルールについてポスターを作成した。「飲食禁止」のポスターでは、外国語でも表記するなど工夫がみられた。
ウルトラティーンズ	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をのぼす ・自分の意見を発信できる場や機会の確保 ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼のあった地域イベントに向けての話し合い(出展内容)など、企画準備実施 ・楽しいイベントの企画・実施 ・お楽しみ会の企画・実施 	小学4年生～18歳 及び19歳以上のサポーター	会議時第1日曜日 午前10時～正午 他イベント等活動時 4/17(日)、7/30(土)・ 31(日)、8/10(水・ 祝)、10/9(日)、11/3 (木・祝)、12/10(土)、 3/21(火・祝)・27(月)	21回	88名	新規メンバーの参入が3名あり、現役メンバーが増えたものの、部活や習い事など、みんなとても忙しそうな1年だった。コロナが落ち着いてきたこともあり、様々なところでイベントが復活してきており、お声がけいただいたイベントへの出展をとおして地域の子どもたちに「たのしい」を届けられた。また、地域との連携を図る中で子どもたち自身が地域の一員の意識を持ち、人材として育てているのが感じられた。前例踏襲だけではなく、人気があるゲームとは別なものに挑戦してみるなど、アクティブな活動も増えてきた。
<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
いつでもこうさく	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動ができる場の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な工作の材料と作り方を受け取り、子どもが自分で制作する。 ・いつでも作りたいときに作る。 <p>4月「パッチン」 5月「ゲコゲコガエル」 6月「牛乳パックの絵合わせパズル」 7月「のぼれのぼれ」 9月「かわり絵カード」 10月「ジャンプおぼけ」 11月「牛乳パックごま」 12月「とび出すクリスマスカード」 1月「ヒラヒラたこ」 2月「パクパクさん」 3月「びゅんびゅんごま」</p>	どなたでも	午前10時～午後8時までいつでも	154日	457名	幼児の親子や低学年の利用が多いので、簡単にできるおもちゃが人気があった。パズルやカードは参加者が少なめだったが、絵の好きな子は楽しそうに取り組んでいた。 ハロウィンやクリスマスにちなんだ工作は参加者が多かった。 いつでもものづくりの体験ができるプログラムは、どの子に対しても体験活動の場の提供に繋がった。

<p>かんたんクッキング～</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実</p>	<p>・自分で調理する場の提供 ・食に対する興味関心を持つ機会の提供 ・いつでも好きな時に作って食べることができる場の提供 10月「マッシュマロサンドビスケット」 「(ハロウィンウィーク)お楽しみホットケーキ」 11月「ふんわりホットケーキ(チーズ味)」 12月「クリスピーチョコボール」 1月「チーズもち」 2月「ハートチョコパイ」 3月「きなこボール」</p>	<p>どなたでも</p>	<p>10月から開始 午前10時～午後6時まで いつでも (調理室を使える時間に限る)</p>	<p>85日</p>	<p>269名</p>	<p>新型コロナ感染対策による事業の制限が緩和され、10月から再開した。再開したばかりの10月は93名の利用があった。今年度はどのメニューも1つ50円で、作り方も簡単なので、低学年の子も気軽に利用できた。使った食器やテーブルを片づけるところまで自分たちできちんとできている。必要に応じて見守り、声掛けをしている。いつでもクッキングの体験ができるプログラムは、どの子に対しても体験活動の場の提供につながった。</p>
<p>切っても切れない切手集め♪inぱお</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのぼす ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実</p>	<p>・使用済み切手の水はがし、収集 ・切手を使った作品づくり(魔法陣・モザイクアート・ご当地地図など) ・切手を使った工作(しおりなど)</p>	<p>メイン対象 小学4年生～18歳 但し、対象以下の年齢の子でも興味があれば参加可とする</p>	<p>第3土曜日 午後3時～5時</p>	<p>12回</p>	<p>171名</p>	<p>「これなに?」と切手を指さす幼児さん、「使ったことがないけど知っている」という小学生、「こういう切手あったらとっいて!」という中学生、「こんなにたくさんの切手があるんですね」と驚く保護者など、たくさんの人がそれぞれの楽しみ方で参加してくれた。他の人が探している切手を見つけた子がすっと渡していたり、常連の子がやり方を説明するなどコミュニケーションが活発に行われた。また、常連の子にお手伝いをお願いすることでより自分事として取り組んでいる姿があり、他の子が探している切手を見つけたりやり方を教えるなど人材として育てている。</p>
<p>ENJOY!!ぱおスポ</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのぼす ・自分の意見を発信できる場や機会の確保 ・子どもの悩みに対する支援の充実 ・体験活動ができる場の充実</p>	<p>・スポーツをとおしてコミュニケーションを図り、利用者同士の交流を図る ・参加者同士で話し合い当日行うスポーツを決定する。 ・中高生が自由にのびのびと身体を動かせる時間と場の提供 ・スポーツ例…アルティメット・バスケットボール・卓球・バレーボール・バトミントン・フットサルなど</p>	<p>中学生～18歳まで</p>	<p>第1、第3金曜日 午後6時～9時</p>	<p>24回</p>	<p>146名</p>	<p>中学生が多く利用している中で、高校生も一定数リポートして参加している。中学生と高校生が同じレベル感でスポーツを楽しんでいた。また、スポーツをとおして一緒に活動をする中で最近の自慢や困っていることなどの相談なども会話に出てきており、居場所として安心している雰囲気を感じる。ぱおスポに参加している中高生はその他の時間の利用時にも周りにいる人に声をかけて一緒にバスケをしたりする姿がみられ、コミュニケーション能力の向上もみられた。</p>

けん玉ぱーく	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実	・けん玉練習会 ・けん玉検定(独自) ・けん玉認定会(けん玉協会) ・けん玉バトル など	どなたでも	第1日曜日、第4土曜日 午後3時～5時	22回	304名	親子での参加が多く、けん玉はもっているが、どうやればいいのかわからなくて参加したという方が多くいた。毎月参加してくださる日本けん玉協会会長の松永先生によるけん玉認定試験には、有段者の子も参加して試技を行っており、集中力と技術力をほかの親子に見せてくれた。また、ここでけん玉や筒けんを知り、自宅でも購入して家で練習する子も増えている。 親子で一緒に取り組むことができ、できたときの喜びやできるまでの工夫を共有しながら行うことで必然と人にものを伝えるコミュニケーション能力も育まれていた。
親子 ガラスフュージング 【協催】青少年健全相 原地区委員会	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	・地域の人材を活かした、大人と子どもが交流できる場づくり ・親子でガラス工芸に親しめる機会の提供 ・板ガラスの上に細かいガラスを乗せて、窯で溶かしオリジナルの作品を作って楽しむ。 ・作品は小皿、箸置き、マグネット、ペンダント、マドラーなど	4歳～18歳とその 保護者	第4土曜日 ①午前10時10分～ ②午前11時10分～	12回	160名	感染症対策として、①午前10時10分～11時 ②午前11時10分～正午の2回に分け、それぞれ定員8名で実施した。ほとんどの回は定員内に収まり、希望者全員に制作してもらえたが、できない人がいることも2回だけあった。 参加者はカラフルなガラスを組み合わせて、自分だけの作品を楽しそうに作っていた。 幼児の親子の参加が多い。小学生は一人で参加することも多く、リピーターが多い。毎回健全育成相原地区委員会の方が参加者への対応や材料の準備をしてくださり、交流の機会とすることができた。 相原地区で盛んなガラスフュージングは、市内・市外問わず多くの人が参加し、体験活動の場の充実になった。
しゅわしゅわパーティ	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・発達に支援が必要な子どもと家庭への支援 ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	①しゅわしゅわパーティ しゅわを取り入れた絵本の読み聞かせ しゅわと取り入れたゲーム ②ばおクエスト しゅわを取り入れた謎解きゲーム	①3歳～小学3年 生程度 ②小学4～6年生 程度	第2日曜日 ①午後2時～2時30分 ②午後3時～4時	11回	331名	①②それぞれに参加があり、重複している子どももいる。 学生が行っているアンケート調査でも保護者からとてもいいという高い評価をいただいている。手話をとおして障がいへの偏見の芽を早期からなくしていくことを目的としている。近隣大学の2団体から学生がそれぞれ参加し実施してくれる。学生にとってはボランティア活動の拠点となり、参加する親子にとってはコミュニケーション能力の向上、手話の体験の場となっている。昨年度よりもリピーターが増え、着実に参加人数を増やしている。

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
あおぞらクッキング (ピザづくり) 【協催】青少年健全育 成相原地区委員会	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動のできる場の充実	・親子、友人とのピザづくり ・ドラム缶窯を使ってのピザ焼き ・青少年健全育成相原地区委員会との協催事業	幼児～18才 とその保護者	4～6月と翌年1～3月 の 第4日曜日 ①午前10時30分～ ②午前11時～ ③午前11時30分～ (7～12月はお休み)	250円	129名	新型コロナ感染対策による事業の制限が緩和され、1月からの再開した。 家族参加が多く調理行程中やドラム缶ピザ窯で焼いている時間は、地域の方と交流を深める姿も見られ、地域連携の一端となり多世代交流の場に繋がっている。 休日に家族で過ごすきっかけとなり、調理活動を楽しみながら子どもの達成感を味わうの居場所となっている。
おしゃべりクッキング 【共催】スターキッズ (ひだまり)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	・地域ボランティアの方との交流 ・親子での調理 ・楽しく会食 8月「黒糖まんじゅう」 12月「クリスマスカップケーキ」	幼児～小学生とそ の保護者	8/3(水) ①午後2時～ ②午後2時45分～ 12/17(水) ①午前10時15分～ ②午前11時 ③午前11時45分～ ④午後0時30分～	100円	39名	参加者は、作業を繰り返すうちにきれいな形を作れるようになったり、色々な形を作れるようになって、作る楽しさを体験して満足げな表情をしていた。出来上がった物を親子や友達同士と一緒に食べる楽しい様子も伝わってきた。 ボランティアは地域の人で組織されている。参加者とボランティアの方達は、教わったり、手伝ってもらったり、おしゃべりしたりと、交流が終始続き、子どもと地域の橋渡しにもなっていた。

【不定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
子ども会支援	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	丸山子ども会新入生歓迎会 ①3億円ジャンケン ②新聞紙ジャンケン ③しっぽ取り ④ゴロゴロピカピカドン ⑤自己紹介(名前・学年・好きなお菓子) ⑥アメリカドッジボール 4月に役員の方二人と打ちあわせをし、内容を決めた。	丸山子ども会在籍 の子どもとその保 護者	5/22(日) 午前10時15分～11時 45分	1回	21名	保護者もゲームに参加し、一緒にゲームを盛り上げた。異学年の地域の子ともと保護者が楽しく交流できる機会となった。 子どもたちのために何かしたい子ども会とノウハウを持っている子どもセンターとの地域連携となった。
子ども委員会企画 みんなであそぼう	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	子ども委員会のメンバーで企画、実施する事業。「来館者に楽しんでもらいたい」「子ども委員会をPRし、メンバーを増やしたい」という思いで、6月から開始した。 6月…「ふうせんおに」 1月…「ドッジボール」	小学3年生～18歳 (内容により、幼児 も可)	6/11(土),1/28(土) 午後3時～4時	2回	22名	子ども委員会のメンバーでポスターを作って周知し、当日のルール説明、ゲーム進行も行った。 参加者は多くなかったが、楽しんでもらっていた。 子ども委員会のPRする機会となり、委員にとってはより大きなイベントのお祭りなどに向けたノウハウを身につける場となっている。

<p>子ども委員会企画 みんなで作ろう</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実</p>	<p>子ども委員会のメンバーで企画、実施する事業。「来館者に楽しんでもらいたい」「子ども委員会をPRし、メンバーを増やしたい」という思いで、10月から開始した。 10月「かぼちゃのバッグ」「マント」 11月「木の実や葉っぱの工作」</p>	<p>どなたでも</p>	<p>10/22(土)、11/26(土) 午後3時～4時</p>	<p>2回</p>	<p>15名</p>	<p>子ども委員会のメンバーでポスターを作って周知し、材料を準備したり、試作したりした。参加者は多くなかったが、メンバーが一人一人に丁寧に説明し、参加者に喜ばれていた。 子ども委員会のPRする機会となり、委員にとってはより大きなイベントのお祭りなどに向けたノウハウを身につける場となっている。</p>
<p>おりがみで作ろう 【協力】地域ボランティア</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実</p>	<p>地域ボランティアの方と相談し、実施した。夏休み事業から開始し、2か月に1回程度実施している。 10月「かぼちゃ&おぼけポケット」 「かぼちゃの箸袋」 12月クリスマスリース 2月恐竜&マンモス(積雪のため中止)</p>	<p>どなたでも</p>	<p>10/10(月・祝)、12/3(土) 午前10時15分～正午</p>	<p>2回</p>	<p>22名</p>	<p>参加者は多くなかったが、ボランティア講師が一人一人に優しく教えてくださり、素敵な作品を仕上げられていた。 伝統文化の折り紙を楽しみ、地域の方と来館者が交流できる機会となった。</p>
<p>家族deチャレンジ！ ”体力測定” 【協力】野村不動産ライフ&スポーツ メガロス町田店</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの心と身体の健康教育 ・地元事業所・商店の関わり</p>	<p>町田市と民間企業との包括連携協定に係るプログラムの実施 体力測定・カウンセリング</p>	<p>どなたでも</p>	<p>2/23(木・祝) 午後2時～4時</p>	<p>1回</p>	<p>130名</p>	<p>町田市と民間企業との包括連携協定に係るプログラムの実施。メガロス町田店さんと実施し、「握力測定」「10mダッシュ」「反復横跳び」「長座体前屈」「幅跳び」の5種を実施した。 堺地域の小学校5校にチラシを配布したことで、まちともやのびっこに行った時に「遊びに行くよ」と声をかけられた。どなたでも参加できるということで「あかちゃんでも大丈夫ですか？」と来場したお母さんに聞かれ、出来ることを楽しんでいただけたらと伝えると嬉しそうに赤ちゃんと参加していた。親子で楽しめる、友達と楽しめる、1人でも満足できるイベントとなった。メガロスさんから参加者に向けて子どもには鉛筆、大人にはプロテインのサンプルが配られた。</p>
<p>町田ファミリーサポートセンター説明登録会 【主催】社会福祉協議会</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子どもと保護者への情報の発信 ・地元事業所・商店の関わり</p>	<p>ファミリーサポートセンターの職員が来館し、内容の説明をする。 登録の受付を行う。</p>	<p>子育ての手助けをしてほしい人(依頼会員)と子育ての協力をしてくれる人(援助会員)</p>	<p>1/14(土) 午後2時～4時</p>	<p>1回</p>	<p>0名</p>	<p>今回、利用者はいなかったが、町田ファミリーサポートセンターの職員の方が館内を巡回し、パンフレットを渡したり、説明したりすることでファミリーサポートセンターの業務内容を周知することができた。</p>

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ちびっこバルシューレ体験教室	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	ボールを使った運動遊び	小学1～3年生 ※当日対象の拡張を行った。 →どなたでも	9/25(日) 午後1時～2時	なし	16名	持ち込み企画のバルシューレ体験教室を実施。申し込みが3名だったため、当日急遽対象を広げ希望者は入れる形にした。ボールを使った体験教室ということだったが、ボール以外にも様々な遊びを行い、体験活動がより充実していた。
ふれあい体験教室 【主催】 青少年健全育成相原地区委員会	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	クリスマスリース作り	相原地区小学生	11/19(土) ①午前10時10分～10時40分 ②午前10時50分～11時20分	100円	58名	リースの台に色とりどりのパーツを選びグルーガンで接着する。出来上がった作品には工夫が見られ、子どもも満足して持ち帰る。作業中は地区委員と話しをしながら、楽しそうに作っている姿が見られ、出来上がった作品を褒めてもらうなど、地域と子どもが繋がる多世代交流の場となった。
<イベント>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
夏事業(自由参加)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	自由木工	どなたでも	8/24(水) 午後2時～4時	なし	18名	端材を置いての自由木工。のこぎり・かなづちスペースを設け、ポンドややすりも用意した。中学生が理想の自分の部屋を作ったり、小学生が星型のコースターを作ったりしていた。乳幼児親子は見本のカブトムシがお気に入りになり、カブトムシとクワガタを作って笑顔満面で帰っていった。乳幼児親子にとって、木工をやる機会はコロナ禍もあり初めての経験だったとのこと。体験活動の場の拡充となった。
		新聞紙で？ 災害時お役立ちグッズを作ろう！	どなたでも	8/27(土) 午前11時～正午	なし	7名	災害時に役に立つ新聞紙工作を行った。小学校低学年だと折ることが難しく、途中で飽きてしまった子もいたが、一緒にいた高学年や中学生が手を取って教えてあげていた。子どもセンターということで、災害時に新聞紙で作れる子どものおもちゃなども取り上げたことでプログラム後にも楽しそうに新聞紙で遊んでいる姿があった。
		カウントチャレンジ～フラフープ～	どなたでも	夏休み期間中	なし	32名	計52回の計測が行われた。来館する度に挑戦する子どもや、1回きりで終わる子など様々だった。夏休み中いつ来ても楽しめるものをという意図があり、毎日来ては挑戦するなど子どもたちが楽しんで参加していた。

夏事業(自由参加)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	Mr.summerの挑戦状	どなたでも	夏休み期間中	なし	38名	毎年恒例となり始めた謎解きを今年も行った。今年はカードタイプの謎解きにし、受付で貸出をしながら行った。今後も貸出ができればと考え、難しめに作ったが、難しくすぎてしまったようで、真の答えにたどり着ける子はほぼおらず、トラップとして用意した答えでもクリアという形を急遽取った。親子や友達同士で一斉懸命頭を使って解き、解けたときのすっきり感を楽しんでいた。
		・いつでも工作 ①フィンガーブーメラン ②牛乳パックのせんす ③えあわせパズル ④あみあみエコたわし ⑤ドリームキャッチャー	どなたでも	夏休み期間中	④20円 ⑤50円	91名	夏休みなので、ゆっくりと時間をかけて作るものも用意した。簡単に作れてすぐに使える「牛乳パックのせんす」は作る人が多く、54名だった。
夏事業(申し込み)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	リサイクルガラス砂絵教室 【主催】 環境政策課、町田エコライフ推進公社	小学生とその保護者	7/30(土) 午前10時30分～午後0時30分	なし	10名	参加者全員が、思い思いの絵を作成して楽しんでいた。参加者同士や、参加者とまちだエコライフ推進公社の方とで楽し気にコミュニケーションを取っている様子が見られた。
		夏のガラスフェーシング ・カラフルなガラスのフォトフレームをつくろう！	小学生～18歳	8/1(月) ①午前10時10分～11時 ②午前11時10分～正午	500円	15名	「はしおき」サイズのガラス片を8つ組み合わせさせて土台にし、その上にほかのガラス片を重ねてカラフルなフォトフレームを作った。基本の形はあったが、子どもたちは思い思いにガラスを組み合わせて個性豊かな楽しい作品に仕上げていた。申込制で、すぐに満員になった。鶴川や忠生地区からの参加者も多かった。
		まちけあ☆キッズ 【主催】 ・いきいき生活部 ・町田市介護人材開発センター	小学生	8/4(木) 午前10時30分～正午	なし	15名	参加者は2つのグループに分かれて各ブース(介護、看護、管理栄養)を回る。1年生の参加が多かったが、集中力が切れることなく、食事の写真を見たり、聴診器で心音を聞いたり、車いすを押してもらったりした。どの場面でも、普段経験が出来ない事を真剣な表情で学んでいた。
		にこしゆわ 【協力】しゆわしゆわパーティー	小学生以上	8/19(金)、8/26(金) 午後2時～3時	なし	19名	手話を習える機会として夏休みの特別講座を行った。申し込みは少なく、当日の参加を促した。手話を覚えて人前でやってみるときに恥ずかしそうにしながらも一生懸命伝えようとしており、コミュニケーションの第1歩だなと感じられるプログラムとなった。
		夏のおりがみ～金魚～ 【協力】地域ボランティア	小学生～18歳	8/11(木・祝) 午前10時15分～正午	なし	4名	地域ボランティアの講師に教えていただき金魚鉢の中で泳ぐ金魚をつくった。参加者は少なかったが、楽しそうに自分だけの作品を作っていた。地域の方と子どもたちが交流し、作品作りを楽しめる良い機会となった。

		子どもセンターでガラス体験 【主催】 博物館	小学生～18歳	8/22(月) ①午後1時～2時 ②午後3時～4時	500円	16名	ガラスコップにペン型工具(ルーター)で模様を彫る体験をした。 40分ぐらいで仕上げる子もいたが、予定の時間を過ぎて1時間30分ぐらいかけて凝った模様を仕上げる子もいた。 素敵な作品を2つも作ることができ、終了後、保護者に嬉しそうに見せている子が何人もいた。 プロの講師から学んで芸術の体験ができる機会となった。
ハロウィンDAYs(自由参加)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より 体験活動ができる場の充実	ハロウィンかんたんクッキング～ 「お楽しみホットケーキ」	どなたでも	10/22(土)～31(金) 午前10時～午後6時	50円	39名	ホットケーキミックスと果汁入りグミ(みかん味、ぶどう味)でハロウィンカラーのおやつを作った。「おいしい」「グミはグミで食べた方が良い」「ぶどう味は好きだけど、みかん味は嫌い」と色々な感想が聞こえてきたが、それぞれに楽しんでくれていたようだ。
		ハロウィン工作	どなたでも	10/22(土)～31(金) 開館時間中いつでも	なし	52名	ハロウィン変装マスク4種(コウモリ、キャット×2、フランケン)の形台紙を提供し自由にデザインをしてもらう。色を塗ったり、お絵描きしたり、シールを貼ったりしてそれぞれのマスクが出来上がった。参加者は小学生と幼児がほとんどだった。
		フォトスポット	どなたでも	10/22(土)～31(金) 開館時間中いつでも	なし	77名	毎年恒例のフォトスポットが今年も行われた。今年は利用者も一緒に作っていくフォトスポットということで、期間中他プログラムに参加した人にはシールが渡され、みんなでフォトスポットを飾っていく形で行われた。また、職員が行っている仮装と一緒に写真を撮りたいと声をかけてくださる方も何名かいた。 今年は高校生も仮装を準備し一緒にコスプレの写真を撮影した。
		ハロウィンドッチボール大会	どなたでも	10/29(土) 午後3時～4時	なし	19名	子どもからの発案でドッチボール大会を行った。幼児から中学生までが入り混じったのドッチボール大会で、幼児さんが投げるときには中学生たちが率先して前に行き当てやすいように配慮していたりと素敵な異年齢交流が行われていた。 子どもからの発信を形にしていきたいという思いもあり、今後も企画事業の一つとして行っていきたい。

ハロウィンDAYs(申し込み)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	綿花の収穫と綿繰り体験 【協力】堺おやじ会	幼児以上とその保護者	10/30(日) 午前10時～正午	なし	24名	ハロウィンの収穫祭にちなみ、屋上の綿花を親子で収穫した後、綿繰り(種と綿を分ける)体験を行った。 堺おやじ会からの収穫手順を聞き綿花を収穫し、綿と種との分離作業は分離されて出てくるのが面白く親子で綿繰り機に興味を持っていた。 保護者からは「栽培からコットンが出来上がる過程が分かり、貴重な体験ができた」と感想が出ていた。 堺おやじ会のメンバーが司会進行をする中で自分たちの活動内容を伝えることで保護者へ活動の周知が行えた。
-----------------	--	--------------------------	------------	----------------------	----	-----	--

【出張定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	会場	参加総数	様子・成果
出張まちも	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子どもの心と身体の健康教育 ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	相原小まちもへの出張 ・木工作体験 ・工作 ・外遊び	相原小学校の児童	第3水曜日 午後2時～5時	相原小学校	1012名	昨年度は金曜日に実施していたが、水曜日に変更して実施した。 通常もまちもへの参加者が多い学校で、いつも子どもたちが元気に過ごしている。 「外遊び」「紙飛行機」「ボンボン人形のトナカイやツリー」「木工作」「たこ」「ガラスフュージング」「牛乳パックの駒」など、協議会の方と相談しながら実施した。 工作では、子どもたちの発想の豊かさにも驚かされた。
		大戸小まちもへの出張 ・遊びの提供や発展 ・遊具の持込	大戸小学校の児童	第2木曜日 午後2時30分～5時	大戸小学校	333名	コロナ対策として、まちもを外のみで実施しているため、雨が降ったため4月、5月、7月、9月、10月は中止した。 在籍児童数の少ない学校だが、まちもへの参加率が高く、「6年生が全員参加」という日もあった。 シャトル入れの筒で作ったロケットを持参したらとても喜び、腕にはめてごっこ遊びをして盛り上がっていた。 プラズマカーは人気があったが、教室に音が響くため学校と相談し持って行かないことにした。 筒ケンやスカイキャッチャー、ディアボロ、ホッピングなどは、いつも人気がある。
		小山ヶ丘小まちもへの出張 ・自由遊びと集団遊び ・遊びの提供や発展 ・ばおからの遊具の持込	小山ヶ丘小学校の児童	毎月第1月曜日 午後3時～5時	小山ヶ丘小学校	628名	毎回多くの児童が楽しみにしており、来校すると子どもたちが寄ってきて荷物運びを手伝ってくれる。持ち込みの遊具が一番多い小山ヶ丘小だからこそその姿だ。遊びの中で低学年と高学年が程よく一緒に遊んでいるのも印象的で鬼ごっこの際、高学年対低学年でお互いに楽しそうに走り回っている。遊びの中で「この間ばお行ったよ!」や「今度〇〇に参加しにいくな」など声をかけてくれる子が増えてきた。

出張まちとも	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子どもの心と身体への健康教育 ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	小山小まちともへの出張 ・遊びの提供や発展 ・遊具の持込 ・工作の提供	小山小学校の児童	第2水曜日 午後3時～5時	小山 小学校	454名	普段利用の少ない小山地区の子ども達から、「ばおだー」と喜ぶ声が聞こえてくる。遠方地の子どもへのサービス拡充の大切な一手となっている。 前年度は雨が多く体育館での活動が多かったが、今年度は晴れが増え、校庭でドッチボールや鬼ごっこ、サッカーなどをして遊んだ。一番遠方地にある小山小だが、ここで知り合った子たちがばおまで自転車で来ることもあった。
		小山中央小まちともへの出張 ・ボールを使った外遊び ・レクリエーション遊び	小山中央小学校の児童	第4水曜日 午後3時～5時	小山中央 小学校	248名	参加人数が徐々にではあるが増えてきている。ばおが来ている時にしかサッカーができないためサッカーを中心に遊びを展開した。まちとも参加者ほとんどがサッカーに参加していたり外遊びをしていたりで室内に誰もいないこともしばしば。かなり楽しみにしている。
のびっこ遊び隊 in小山(白山公園)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・自分の意見を発信できる場や機会の確保 ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・自由遊びと集団遊び ・遊びの提供や発展 ・地域(町田福祉レクリエーション研究会)との連携プログラムの実施。	どなたでも	第3日曜日 (7.8月を除く) 午後2時～4時 雨天中止	小山白山 公園	646名	雨天のため4回中止になった。外遊びの難点。しかし毎回100名を超える親子が楽しみにしており、開始と同時にどんどん人が増えてきている。色々な遊具があることで、じっくりと挑戦する子やとにかく色々やってみる子など、体験の場として充実している。

【出張不定期事業】

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ガラスフュージング 相原小学校みどり学級	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・学校教育の充実 ・地域連携・人材育成の推進 ・体験活動ができる場の充実	・板ガラスの上に細かいガラスを乗せて、窯で溶かしオリジナルの作品を作って楽しむ。 ・作品はマグネットのみ	相原小学校みどり学級と先生	7/4(月) ①午前10時35分～11時 ②午前11時～11時25分	200円	27名	体験授業の一環でばおの職員が出張し、学校の教室でマグネットを作った。凝ったデザインのをじっくりと作っていた。ばおとばおのガラスフュージング事業についてPRする機会となった。
ガラスフュージング 相原小学校3年生		・板ガラスの上に細かいガラスを乗せて、窯で溶かしオリジナルの作品を作って楽しむ。 ・作品は箸置きのみ	相原小学校3年生	7/11(月) ①午前10時35分～11時20分 ②午前11時35分～午後0時20分	100円	58名	体験授業の一環でばおの職員が出張し、学校の教室で3.4時間目で行った。ばおとばおのガラスフュージング事業についてPRする機会となった。
夏事業(出張)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	のびっこ遊び隊 at 小山市民センター	どなたでも	8/10(水) 午前9時30分～11時30分	なし	17名	乳幼児親子のグループが遊びに来てゲームコーナーや工作、遊びスペースと元気に遊んでいた。数年ぶりの小山市民センターでの開催のため、参加者は少なかったものの、普段遊べないようなもので遊んでいる姿はとても満足していた。小山地区へのサービス展開の一環として行い、乳幼児親子の遊びの場となった。子どもクラブの休みの日に設定したことで、行き場のなかった親子さんが遊びに来てくれた様子だった。

夏事業(出張)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実	小山小学校「きょうみランド」 ガラスフュージング教室 箸置き・マグネット作り	小山小学校児童	7/25(月) ①午後2時～2時50分 ②午後3時～3時50分	300円	22名	①は3,4年生、②は5,6年生対象。 ボランティアで小山中学校の生徒さんも3名 来ていて、地域の交流の機会となった。 いろいろな材料の中からじっくり選んで、自 分だけの作品を思い思いに作っていた。
		ただONガラスフュージング 箸置き・マグネット作り	小学生～18歳	8/5(金) 午後2時～3時	300円	12名	早めに来て準備する子が多く、定刻には説 明を始められた。 デザインをあれこれと考え、時間いっぱい まで集中して作業している子も多かった。 忠生地域でガラスフュージングの楽しさを紹 介する良い機会となった。
移動動物園	・動物とのふれあいを楽しむ ・動物に対する優しい気持ちをはぐくむ ・動物に関わる仕事に触れ、魅力や苦勞な どを知る。(スタッフ体験)	株式会社どうぶつむらへの委託事 業。 相原中央公園芝生広場で開催。 触れ合い体験…やぎ、うさぎ、モル モット、あひる、ひよこ、にわとりに餌 をあげたり、抱っこしたりして触れ合 う。 スタッフ体験…餌の準備、受付、案 内を職員と一緒にいる。交代で触れ 合い体験もする。	どなたでも	11/27(日) ①午前10時30分～10 時55分 ②午前11時～11時25 分 ③午後0時30分～0時 55分 ④午後1時～1時25分 ⑤午後1時30分～1時 55分	なし	149名	事前申し込みで定員になった。 参加者はどうぶつ村スタッフのアドバイスを よく聞いて、そっと優しくどうぶつと触れ合え ていた。 笑顔のあふれる楽しいイベントになり、「来 年もやってほしい」というお声をたくさんいた だいた。 「子どもスタッフ」は小中学生5名の申し込み があり、エサの準備、片づけ、受付、案内を してくれた。午前だけの予定だったが、「午 後も続けてやりたい」と言って、最後まで続 けてくれた。

【スタジオ講習】

内容	開催日	開催回数	対象	参加総数	備考
すたじお「ヴァモス」を 使うための講習会	・受講希望者と日程を決めて行う。 ・1回2時間程度	14回	中学生～18歳まで	24名	コロナ禍でテキストの変更があったり、スタジオの利用時 間や清掃方法についての変更が多々あり、講習会をしつ つも情報発信を大切に行ってきた。

<3>主催イベント

	目 的	主な内容	対 象	日 時	費 用	参加総数	成 果
周年記念事業 ばーすでい13 【協力】 青少年健全育成相原地区委員会、町田福祉レクリエーション研究会、ばお分館子どもスタッフ、子どもクラブさん子ども委員会、堺地域子育て相談センター	子どもセンターばおの開館13周年をお祝いする春のイベント「ばーすでい13」として、日頃からばおの運営を支えてくださっている地域住民、地域団体と子どもたちが一緒に企画・実行している。 今回は時間を短縮し新型コロナウイルス感染症対策をすることにより、市民と子どもセンターとの親睦を深め、今後の活動の動機づけと来館者利用に繋げたい。	工作コーナー ゲームコーナー 体験コーナー	どなたでも	4/17(日) 午後1時～4時	なし	197名	感染症対策を講じながら3年ぶりに小規模で開催した。模擬店の出店はないが、地域の関連施設や地域団体の協力を得てゲーム・工作、ニュースポーツ・伝統文化の体験コーナーでは終始楽しく過ごす事ができた。地域に根ざしたイベントを開催し、参加者全体の交流・親睦の場となった。
夏まつり・花火大会 【協力】 青少年健全育成相原地区委員会、相原たけの子学童保育クラブ保護者会、相原冒険あそびの会、法政大学多摩ポランティンアセンター、生活安全課、堺地域子育て支援センター、Machidamars、陽田囃子保存会、ダンス、マジシャンマリリン、和太鼓集団「雅武者」	・参加者にとって様々な体験を楽しむ場となる ・子ども委員会、ウルトラティーンズ、地域住民等が地域で活躍する場となる ・地域団体・地域の方々との交流・連携を深め、地域に根ざした子どもセンターの運営を図る	工作コーナー おばけやしき 模擬店(有料) ステージ発表	どなたでも	7/31(日) 夏まつり 午後1時～4時 花火大会 午後7時～8時	一部有料	382名	感染症対策を講じながら開催した。模擬店は、飲み物と駄菓子のみだったが、子どもたちは喜びあつという間に完売となった。ステージを設け6つの演目が披露され、様々なジャンルを楽しむことができた。参加者全体の交流・親睦の場となった。
ばおのあったか冬フェスタ 【協力】 青少年健全育成相原地区委員会、堺おやじ会、相原たけの子学童保育クラブ及び保護者会、大戸のびっ子学童保育クラブ、相原冒険あそびの会、堺地域子育て相談センター	・参加者にとって様々な体験を楽しむ場となる ・子ども委員会・地域住民等が地域で活躍する場となる ・地域団体・地域の方々との交流・連携を深め、地域に根ざした子どもセンターの運営を図る	工作コーナー ゲームコーナー おはなし会 模擬店(有料)	どなたでも	12/10(土) 午後1時～4時	一部有料	290名	11時のアナウンスで館内の雰囲気ガラリと変わりおまつりが開催した。地域の学童クラブの協力でゲームコーナーを実施してもらい、他のゲームコーナーと併せて楽しむことができた。子ども同士が交流できる場の提供ができ、今後の創意工夫のヒントになっている。地域の方々協力を得て、地域に根ざしたイベントを開催できた。

子どもセンターぱお分館WAAAO

<1>子育て支援事業

【定期事業】

＜自由参加＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
おはなしたいむ	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子どもの居場所の充実	・その日の利用者状況や要望に応じ、絵本の読み聞かせを行う	未就学児とその保護者	利用者状況に応じ実施	7回	58名	・初めて来館した親子や、時間を持て余してしまっている親子さんがいた場合に臨機応変に実施した。保護者と職員のコミュニケーションのきっかけとなり、その後の利用につながった。 ・親子で一緒に絵本の読み聞かせを通して、場面場面で声を掛け合うなど、ふれあいながら絵本の世界を楽しんでいた。 ・館内にある絵本の紹介を通して、新しい絵本を知ることや、子どもが興味を持つ絵本を知るきっかけとなった。
でこかべ	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・絵本の世界をテーマに、季節に合った子どもたちの作品で、壁面を飾る	3歳～小学生	毎日 午前10時～午後5時30分	165回	492名	・毎月のでこかべを楽しみに、絵本の世界や季節に興味を持ちながら意欲的に参加し、完成の喜びを共有していた。 ・施設の過ごし方の選択肢として、楽しみの一つになり、毎月参加している子など、居場所の充実につながった。 ・壁を飾りたい子どもが増え、自分の作品を見てもらうことに喜びを感じたり、自分の発想やアイデアを壁面に生かすこともあった。 ・繰り返し行うことで技術の向上や工夫が見られるようになった。
ほのぼのたいむ	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・子どもの居場所の充実	・ふれあい遊び ・交流 ・おはなし ・誕生時の祝い等	未就学児とその保護者	毎月第2木曜 午前11時～11時30分	11回	123名	・今年度より月一回の開催となり、リピーターの親子が増えた。 ・ふれあい遊びを初めて行う参加者も多く、繰り返ししながら覚えていく中で子どもとの過ごし方のヒントを知る場となった。 ・友達作りを求めている母親が多く、参加を通じ同年齢の親子と話すきっかけとなり、終了後やプログラム以外の場でも交流を深める様子が見られた。 ・子育てに対する気になることや悩みを保護者同士で話すことで、同じように不安を抱える母親の存在を知ることができ孤独感の解消に繋がった。
はっぴいたいむ (午前)	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・子どもの居場所の充実	・ふれあい遊び ・手遊び ・おはなし	未就学児とその保護者	毎月第3水曜日 午前11時～11時20分	12回	130名	・母親と一緒にふれあい遊びや季節に合わせたお話は、どの子も笑顔で嬉しそうに参加しており、参加を目指して来館する親子が増え居場所の充実につながった。 ・月によって参加者の年齢がまちまちで、ほのぼのたいむと被るときもあったので、臨機応変な対応が必要だった。 ・絵本の紹介の機会となった。

<p>わくわく工作</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実</p>	<p>・親子でできる簡単工作 ・作って遊べる工作など 4月「とびだせ！たまごちゃん、のぼれのぼれ！、たまごうさぎのおりがみ」 5月「カードケース、てつぼうだいかいてん、おりがみごま」 6月「かさぶくろひこうき、かえるパッチン、てるてるぼうずのおりがみ」 7月「たこ・くらげヨーヨー、アイスクリームけんだま、吹きゴマ」 8月「しんぶんしバック、かんたんつりゲーム」 9月「ふわふわモンスター、むしねがね、りすのおりがみ」 10月「パンキンバック、とびだすおぼけ、くまのおりがみ」 11月「くるくるへび、ぎゅうにゅうパックン、カメラのキタムラおりがみ」 12月「ダンシングサンタ、かんたんステンドグラス、ゆきだるまのおりがみスノードーム」 1月「ぴよんぴよんうさぎ、だるまさんがころんだ、だるまのおりがみ」 2月「うさぎのおひなさまバック、くるんぱっ！、ハートのねこ・おにのおりがみ」 3月「ロケット、ボールおとし、つなげてくねくね」</p>	<p>3歳～18歳とその保護者</p>	<p>毎日 午前10時～午後5時30分</p>	<p>234回</p>	<p>1173名</p>	<p>・館内の過ごし方の一つとして、工作を楽しみにし、毎月3種類の中から自分でやりたい工作を選択することができた。 ・初めはできなかったことも繰り返し工作に取り組むことで、自分なりのコツを見つけ、道具の扱いに慣れるなど、活動を通してできることが増えていった。 ・今年度は、ひと月に一つ折り紙を取り入れた。最初は一人で折れなかった人も、職員の助けをかりながら折り方を目で追いながら折り進めていくことに慣れ、一人でも完成させることができるようになっていった。 ・簡単な工作を家にも持ち帰って、再度工作に挑戦するなど、家庭での過ごし方の一つとなった。 ・遊べる工作など、完成した後、上手に遊べるようになるまで、繰り返し挑戦していた。</p>
<p>さくらんぼの会 【協力】堺第二高齢者支援センター</p>	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・子どもの居場所の充実</p>	<p>・読み聞かせ ・手遊び ・わらべ歌、童謡 ・世代間交流など</p>	<p>未就学児とその保護者</p>	<p>第1、第3金曜日 午前11時～11時30分</p>	<p>24回</p>	<p>258名</p>	<p>・世代間交流に喜びを感じながらお話を楽しみ、繰り返しの利用に繋がった。また、それがボランティアさんの活力や向上心となり相乗効果となった。 ・童謡、わらべうた、手遊びを多く取り入れ、親子がふれあい楽しむ事が出来た。</p>

Twinkle Twinkle 【協力】地域ボランティア	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・地域連携・人材育成の推進 ・子どもの居場所の充実	・英語のわらべ歌と絵本など ・英語のふれあい遊び、手遊び ・ゲーム	未就学児と その保護者	5/24、7/19、9/27、 11/22 いずれも(火) 2/27(月) 午前11時～11時30分	5回	62名	・英語の歌や絵本を通して親子、講師が笑顔でふれあい、和やかな時間を過ごしていた。 ・歌や手遊びを通して、楽しみながら英語の音に触れるきっかけになった。 ・終了後、情報交換や交流をして過ごす様子が見られ、子育ての相談・支援の充実につながった。 ・季節ごとの欧米の文化や習わしを知る機会となった。
えいごひろばベニーズ 【協力】地域ボランティア	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・子どもの居場所の充実	・マザーグースをはじめとする英語の歌と絵本やオリジナルのパネルシアター ・簡単な英語でのやりとり ・ふれあい遊び ・手遊び	未就学児と その保護者	4/13、6/8、10/12、 12/14 、2/1 いずれも(水) 午前11時～11時30分	5回	63名	・親子が季節ごとの英語のうたや絵本、手遊びを通して、笑顔で講師、親子でのふれあいの時間を楽しむことができた。各季節に沿った内容を取り入れることで継続的な利用につながり、居場所の充実となった。 ・自宅でも取り入れることのできる簡単な英語のやり取りやふれあい遊び、欧米の文化の紹介もあり英語に触れるきっかけづくりとなった。 ・終了後も英語の取り入れ方を講師へ積極的に質問をする保護者が多かった。
<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
お母さんのための ストレッチたいむ 【協力】地域ボランティア	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・地域連携・人材育成の推進	①壁を使って肩、手首、腕 ②卵ブロックを使ってふくらはぎ、膝裏、脇腹、脇 のストレッチ	8か月までの乳児 の母	6/23(木)、7/6(水)、 9/26(月)、10/23 (日)、 11/24(木)、12/22 (木)、1/27(金)、3/23 (木) 午前11時～11時30分	なし	22組	・講師からの申し出により、6月から定期開催することとなった。事前申し込みでは参加者が少なく、当日来館している保護者に声掛けをした。 ・母親自身の健康保持は、子育ての心のゆとりにもつながる大事な要素であり、参加した母親は明るい表情で帰宅され、ストレッチによる心身の疲労軽減が行えた。忙しいお母さんへの支援の充実につながった。

【不定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
堺地域子育て相談センターによる巡回相談 【主催】堺地域子育て相談センター	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・発達の支援が必要な子どもと家庭への支援 ・虐待の防止と支援の充実	・子育ての悩み等の相談	未就学児の保護者	9/8(木)、10/19(水)、 11/11(金)、12/8 (木)、1/18(水)、2/15 (水)、3/9(木) 午前11時～11時30分	7回	24件	・乳幼児プログラム参加者や日常利用者から相談を受けるなど、様々なタイミングで相談業務の実施を行った。 ・普段WAAAOを利用していない保護者も、子育てサイトを見て相談に見えた保護者もいた。 ・相談内容は、日常の生活の中で感じる成長発達の不安や生活習慣、情報と異なる成長の不安についての相談が多かったようだ。 ・相原にある子育て相談センターには普段なかなかいけないうち山地区の保護者にとって、子育ての相談・支援の充実につながった。

堺図書館によるおはなし会 【主催】堺図書館	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・手遊び ・わらべ歌のふれあい遊び ・からだ遊び ・絵本の読み聞かせ ・図書館の紹介	未就学児とその保護者	1/26(木) 午前11時～11時30分	1回	10名	・0～3歳の乳幼児が参加し30分間母親の膝の上で一緒に動いたりおはなしを聞いたりしていた。工夫された内容の展開に、集中を切らさず楽しんでた。0歳からの参加ができるため、初めての読み聞かせ体験にもつながった。 ・図書館の紹介と共にリクエスト本についての説明を受け興味深く質問している保護者もあり、堺地域の図書館やリクエスト本の利用のきっかけとなった。
町田ファミリーサポートセンター説明登録会 【主催】社会福祉協議会	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子どもと保護者への情報の発信 ・地元事業所・商店の関わり	・ファミリーサポートセンターの職員が来館し、事業内容の説明をする。登録の受付を行う。	子育ての手助けをしてほしい人(依頼会員)と子育ての協力をしてくれる人(援助会員)	2/4(土) 午前10時30分～午後0時30分	1回	8件	・情報を見て初めて来館された保護者もいるほど関心の高さを感じた。参加者が予想以上に多く、急遽整理券を渡して順番に案内できるようにした。共働き家庭の多い地域のニーズの高さを示しており、遠方地で利用できなかった親子に対して情報の発信につながった。
<申し込み制>	目 的	主 な 内 容	対 象	日 時	費 用	参加総数	様 子 ・ 成 果
保育園・幼稚園等の選び方講座 【主催】保育・幼稚園課	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実 ・子どもと保護者への情報の発信	・町田市内の教育・保育施設の種類 ・園の選び方・見学のポイント ・質問タイム	第一子または初めて保育施設に預けたい市民	6/30(木) 午前10時30分～正午	なし	21名	・受付開始前からの問い合わせや受付開始日には定員が埋まるなど関心の高さを表していた。 ・定員枠に入れなかった保護者は、開催場所のエリア外からの参加になった(コロナのため、エリア内に入れる人数が限定されていたため)が、父親の参加もあり、「わかりやすかった」「今後の動きのイメージがついた」等々の感想が多く、市役所から遠方の地域では満足度の高い市民サービスとなった。
ベビーマッサージ 【協力】地域ボランティア	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・子育ての相談・支援の充実	・マッサージ用のオイルを使って、歌をうたったり声をかけながら、全身のリンパマッサージを行う	2か月～8か月の乳児とその保護者	7/11、12/12、1/16 いずれも(月) 午前11時～11時30分	なし	17名	・参加した親子の笑顔と、温かく柔らかい空気があふれ、心地よく母親にマッサージしてもらった乳児は、熟睡して退館する子が多かった。 ・親子で触れ合えるスキンシップを体験したことで、自宅でも継続的にできる、子育ての喜びを高める手法を提供できた。
育児講座 「幼児食」 【協催】堺地域子育て相談センター	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実	・大人ごはんとの違いについて。 ・幼児食を作るにあたっての注意点 ・食材、調理、調理法などについて、事前質問事項の回答を交えながら進めた。	未就学児の保護者	9/29(木) 午前11時～11時30分	なし	6組	・申込時点で集約した質問の回答を交えながらの説明だったこともあり、我が子の動きを気にしながらも興味深く聞き入っていた。 ・視覚でも確認しながらの説明で効果的な進め方だった。全体での質問や終了後の個別相談なども多く、保護者の関心の高い支援の充実となった。

育児講座 「イヤイヤ期」 【協催】堺地域子育て 相談センター	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子育ての相談・支援の充実	・なぜ「イヤイヤ期」がおきるのか脳 の仕組みや発達段階と関わり方を考 える	1歳以上の子をも つ保護者	10/27(木) 午前11時～正午	なし	6組	・時折、我が子の動きに気を取られながら も、始終講師の話に集中してうなずいたり、 真剣にメモを取りながら聞いていた。 ・「子どもの感情を大事にしたい」、「見守るこ とも大事だと感じた」、「時間がない時には子 どもの自己主張を受け止められないことが あるので、今日のお話を聞いて心がけようと 感じた」などの感想があり、日々の向き合い 方を振り返り前向きな関わりにつながる大 事な時間となった。
避難訓練・乳幼児救 急法 【協力】町田消防署西 町田出張所	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進	・避難訓練 ・消火訓練 ・乳幼児の救急法 ・心肺蘇生法	未就学児と保護者	12/1(木) 午前10時40分～11時 30分	なし	14名	・震災を想定した訓練に皆真剣に取り組ん でいた。 ・消火訓練では、初めて消火器を触る保護 者が多く、手順をしっかり学んでいた。 ・救急法では、誤飲時の対処法や心肺蘇生 法など終了まで真剣に聞き入る姿があり、 たくさんの保護者からニーズのあるものだ と感じられた。体験を通して学ぶ重要性を改 めて実感した。
<イベント>	目 的	主 な 内 容	対 象	日 時	費 用	参加総数	様 子 ・ 成 果
歌とピアノ 「ドレミの会」 【協力】地域ボランティ ア	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・地域連携・人材育成の推進 ・子どもの居場所の充実	・季節の子どもの歌 ・手遊び歌やふれあい遊び ・パネルシアター	どなたでも	5/11(水)、1/25(水) 午前11時～11時30分	なし	31名	・ボランティアからの持ち込み企画。地域で 活動するボランティアさんとの連携事業と しておこなった。 ・歌やピアノを専門分野とするボランティア さんが、季節の歌やふれあい遊びを、ペー サートを使いながら披露し、参加者は一緒 に歌ったり、リズムにのって音楽を楽しん でいた。親子共に音楽の力に癒されたり、気 分転換ができた様子だった。

【出張不定期事業】

<申し込み制>	目 的	主 な 内 容	対 象	日 時	費 用	参加総数	様 子 ・ 成 果
パパと遊ぼう！ 【共催】堺地域子育て 相談センター・子ども センターぱお 【協力】小山子どもク ラブさん	【子育て推進課実施起案】より ・父親の育児参加と父親同士の交流のき っかけをつくる	・父子の交流あそび「手遊び・ゲーム など」 ・父同士の情報交換「パパミーティ ング」 ・子どもセンター・分館・子どもクラブ・ 堺子育て支援センターなどの情報発 信	未就学児とその父 親 (希望があれば母 の付き添い可)	9/19(月・祝) 午前10時～11時30分	なし	36名	・積極的にレクリエーションや、体操に参加 する父親の姿があった。 ・パパミーティングでは、しつけや寝かしつけ の方法等、具体的な内容に発展する様子 が見られた。他の父親の話を聞き育児につ いて考えること、やってみようという気づ きを得ている様子だった。

子どもセンターばお分館WAAAO

<2>子育て支援事業

【定期事業】

＜定例活動＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
子どもスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> 【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・自分の意見を発信できる場や機会の確保 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・WAAAOで行うお楽しみ会の企画実施 ・イベントがあった際のゲームコーナーなどの企画・実施 	小学3年生～18歳	原則第1土曜日 午後3時～5時 ・4/17はばお周年イベント「ばーすでい13」に出展 ・8/6 12/3 3/4 は「お楽しみ会」を実施	14回	103名	4月には「ばおばーすでい」に出展し、大きなイベントを経験できたことで、その後の「お楽しみ会」の内容に活かされていた。8月にはお祭りをテーマにし、また12月には景品にたどり着くまでの過程の工夫、3月にはこれまで行ったことのない遊びを内容に加え来館者を楽しませていた。考えをうまく伝えられない子は、他の役割で活躍しながら、認め合い協力しあって楽しく活動する様子があった。
＜自由参加＞	目的	主な内容	対象	日時	開催回数	参加総数	様子・成果
はっぴいたいむ(午後)	<ul style="list-style-type: none"> 【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話、絵本、パネルシアター ・ふれあい遊び、クイズなど ・お誕生児のお祝い 	0歳～小学生	第3水曜日 午後4時30分～5時	12回	190名	<ul style="list-style-type: none"> ・でこかべからお話やゲーム、クイズに繋がったことで、絵本の世界や季節の移り変わりを感じ、乳幼児から小学生、保護者まで多世代交流を楽しむ場となった。 ・毎月のお話を楽しみに来て、絵本を手にしたたり、興味が広がる機会となった。 ・お誕生会は、お祝いの気持ちを持って参加し、共に成長を喜び合う和やかな場となった。 ・繰り返し参加してくれる利用者が多く居場所の充実につながっていた。
かってに工作でい	<ul style="list-style-type: none"> 【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料選びから始まり、工夫を重ねながら、独自の作品を完成させる。 ・作り方が浮かばない場合や、道具の使い方に困惑している場合は、アドバイスしながら子どもの意思に寄り添い見守る。 	3歳～小学生	第4土曜日 午後3時～4時30分	11回	119名	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児のほとんどは、材料を手に取りつなげたり重ねたりして出来上がった形からイメージにつなげる子が多い。小学生の場合は、材料を見ながらイメージしたものを創り上げていくという傾向が見られ、成長段階による思考の違いが現れる面白さがあった。 ・どの年齢においても根気よく工夫を繰り返す経験が、豊かな発想力を育み、物作りへの興味を高めていく場となっていた。
新聞紙であそぼ！	<ul style="list-style-type: none"> 【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を使用したゲームや遊び 	3歳以上	第2・4木曜日 午後4時30分～5時	19回	165名	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、友達とゲームをする目的で来館する小学生たちは、友達の意見によって参加の可否を決めたり、好きな遊びのリクエストをしてから参加していた。小学生の希望も取り入れながら、未就学児も安全に遊べる内容で実施した。 ・新聞を取っていない家庭が増えている中、家で遊びにつなげることは難しいが、発想の展開につながり、紙で様々な遊びを経験する機会となった。

【不定期事業】

<自由参加>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
ユニカールにちょうせん！ 【協力】町田市ユニカール協会	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・氷のいらない陸上カーリング体験	3歳～18歳とその保護者	7/30(土) 午後3時～4時30分	なし	24名	・初体験のユニカールに興味津々。保護者も含め、ストーンの投げ方の練習を行った後入れ替え制でミニゲームを体験した。何度もゲームにチャレンジしたがる子が多い中、一部、「チームに迷惑かける」とか「負けるから」という理由でやめたがる残念な声が聞かれたが、講師の上手な誘導により、前向きにチャレンジすることができ、楽しむことができた。 ・初めてのチャレンジを楽しむ親子が多く、新しいスポーツを体験する貴重な時間となった。
窓ガラスにお絵描きしちゃおう！	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・大きなガラスをキャンバスにして、クレヨンでお絵描きする	3歳～18歳	8/1(月) ①午前11時～11時30分 (未就学児) ②午後3時～4時 (小学生以上)	なし	37名	・窓ガラスに絵を描くということで、その日限りの特別な機会ということ伝えながら実施した。 ・初めは恐る恐る窓ガラスに小さく描き始めていた子どもたちだったが、少しずつダイナミックな絵と変化していき、普段とは違う大きなキャンバスに自由に絵を描けることで、自分の中の気持ちを発散していた。 ・自分の好きなものを思い思いに絵にかいて表現し、紹介しながら描いていた。
ペットボトルのストラップづくり	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・ペットボトルビーズや残り物のビーズなどをつなげて、ストラップを作る	5歳～18歳	8/3(水) 午後3時～4時30分	なし	16名	・沢山のビーズの中から自分の好きなビーズを選び、穴の大きさや色の組み合わせ等、一つ一つこだわりながら完成させた。細かい作業だったが、少しずつ自分なりに作りやすい方法を見つけ指先の動きもスムーズになっていった。 ・ペットボトルからビーズができることを知り、家でも作り方を見ながらビーズづくりに挑戦した子どももいた。
ミサンガづくりに挑戦	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・簡単な編み方で、刺繍糸を編んで完成させる。	小学生	8月8日(月)～13日(土) 午後3時～5時	なし	23名	・ワールドカップ出場国の国旗カラーでのミサンガづくりを通して、ワールドカップや、他国について知るきっかけとなった。 ・一度編み方を習得すると、一気に最後まで編み続ける集中力を見せてくれた。完成後は達成感や満足感を得られたようだった。
夏のこわ～いおはなし会	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・子どもの居場所の充実	・怖いお話をあつめたおはなし会	5歳～18歳	8/13(土) 午後4時40分～5時	なし	3名	・台風接近で風や雨が強く、時間を早めての開催となった。 ・参加人数は少なかったが、興味関心をもって参加し、怖いお話の世界に入り込み、ドキドキ感を味わい、気分が高揚していた。

ドミノ大会	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのドミノを利用して、普段よりながいドミノに挑戦 	小学生以上	8/15(月) 午後3時～4時	なし	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ドミノで星や丸など形を作ること、一つの街「アヒルタウン」を作ること全員で相談して決め、それぞれの担当場所を担い、全員で力を合わせて1つの物を完成させ達成感を得ることができた。 ・失敗を繰り返しながらも何度もあきらめずに挑戦することができた。 ・ドミノにストローや紙を合わせて国旗を作るなど想像と工夫をしながら街をデコレーションしていき「アヒルタウン」を作り上げた。
みんなで遊んじゃおう	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 22日かくれんぼ&宝探し 23日クイズ&大縄跳び 24日なんちゃってスイカわり大会 25日新聞紙であそぼうスペシャル 26日なににあそぶ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ①3歳～未就学児 ②小学生 	8/22(月)～26(金) ①午前11時～11時30分 ②午後4時30分～5時15分	なし	65名	<ul style="list-style-type: none"> ・5日間、それぞれ内容を変えながら、幼児と小学生の時間帯を分けて行った。子どもたちは、体力やレベルにあった形で参加でき、いつも小さい子がいるからと、遠慮気味の小学生も思いきり発散できていた。 ・毎日この時間に間に合うように走って来たり、翌日の内容を確認する小学生もいた。小学生は、ルールを自分たちで決め、普段一緒に遊ぶことのないメンバーとの遊びを楽しんでいた。大きな笑い声や意気込み、落胆の声など賑やかな声が響き、コミュニケーション豊かな時間となった。
おもいっきりクリスマスウィーク	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスにちなんだチャレンジ ・クリスマスにちなんだ遊び 	3歳～小学生	12/12(月)～24(土) 午後3時～5時	なし	189名	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジは、幼児でも小学生でも楽しめる内容にし、全て友達との記録争いではなく自分の記録更新の為のチャレンジ。チャレンジする度に、ツリーに記録カードを貼り付けていけることも楽しんでいた。他の子ども達がチャレンジしている姿につられて参加する子が多かった。 ・遊びの「宝さがし」はグループで協力しながら、いくつもの課題をクリアするため集中しいつもと違う形の遊びを楽しんでいた。クリスマスを題材にしたことで、子ども達の志気が高まった。 ・チャレンジではお互いの記録について、遊びでは課題をクリアするため、積極的にコミュニケーションがとられていた。
おもいっきり運氣あげあげ～	<p>【新・町田市子どもマスタープラン後期】より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 	<ul style="list-style-type: none"> お正月感や節分をWAAAOでも楽しむ ・どきどきおみくじ ・絵馬だのみ ・鬼たいじ ・鬼おとし 	3歳～小学生	1/5(木)～31(火) ①どきどきおみくじ ②絵馬だのみ 1/23(月)～2/3(金) ③鬼たいじ ④鬼おとし いずれも午前10時～午後5時	なし	98名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は、絵馬に興味を持って参加する小学生が多く、自分の願いを書くだけでなく可愛く絵を付け足していた。子どもらしい願い事を見て来館者が笑顔になることが多かった。 ・お正月ならではの季節の習わしを楽しみ、願い事や鬼退治では、自分を見つめ自分の言葉で表現する機会となった。

<申し込み制>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
アニメ理科実験教室 「水ライトを作ろう」	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・動画を見ながら電気がつく仕組みを知り、水だけで点灯する環境にやさしいライトを作る ・完成後には、動画の中の悪者をライトで撃退して遊ぶ	小学生	8/4(木) ①午前10時20分～11時20分 ②午後3時～4時	なし	17名	・小さなライトでも、自分の力で作った達成感とLEDの明るさに全員興奮気味だった。電池やコンセントにつなぐことなく、水につけるだけで明るく点灯するLEDライトは、エコであることや災害時にも役立つことを伝えることができた。 ・普段のプログラムではなかなか実験教室までではできないため、体験活動の充実につながった。
わーおたいむ	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	長期間にわたって使用できる(飾れる)物を作る 1回目「水ライトを作ろう」 2回目「クリスマスリース作り」 3回目「ゆびあみでマフラーをつくっちゃおう！」	3歳～小学生	1回目8/4(木) ①午前10時20分～11時20分 ②午後3時～4時 2回目12/17(土) ①午前10時30分～11時30分 ②午後2時～3時 3回目2/25(土) ①午前10時20分～11時50分 ②午後1時50分～3時20分	1:350円 2:200円 3:250円	41名	・昨年度より参加費が少し高くなったが、昨年度同様たくさんの参加があった。コロナ禍で体験教室などが減ったこともあり、普段と違った工作はニーズがあった。 ・同じ作業の繰り返し的工作もあったが、最後まであきらめずに根気よく作品作りに向き合い、完成後は達成感を得ることができた。 ・完成後工作で大変だった部分や、楽しかったことなど全員で感想を共有し、お互いの想いや個性を知ることができた。
集まれ！マジシャン 「ザ・ショーたいむ」	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・子どもの居場所の充実	・無色透明が色水に ・トランプの手品 ・カップの中身はどこ？ ・トランプ手品	マジシャン 小学生以上 観客 どなたでも	8/18(木) 午後4時～5時	なし	20名	・初めての試みだったが、どの子も練習を重ね準備万端で発表となった。スムーズな説明と見事な技を披露して拍手喝采をあげると、とても嬉しそうだった。 ・最後はマジシャンの希望でネタばらしまで行い、職員が何もコーディネートすることなく、子ども達だけで観客を楽しませる力を発揮していた。 「やりたい」と意思表示でき、本番に向けて何度も練習を重ねたことで、緊張を乗り越え大成功につながった経験は子どもの愛着心を育み、居場所としての認識を持つきっかけとなった。
公園であそぼ！	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	レクリエーションゲームとネイチャーゲームを行う ・ジャンケン列車 ・親とろ子とろ ・コウモリとガ ・手つなぎ鬼 ・フィールドビンゴ ・いねむりおじさん ・落ち葉のかけあい	小学生	11/19(土) 午前10時20分～午後0時20分	なし	8名	・子ども達にとっては身近な公園でも、WAAAのみんなと思いきり遊べるのを皆楽しみにしていた。 ・自然を体で感じるゲームの他、リクエストにも応じた内容も加え、生き生きとした時間を過ごした。 ・それぞれの感性で集めて来た自然の宝物を嬉しそうに披露し合い、同じ課題でも人それぞれ感じ方が違うことも気づけたようだった。葉っぱのかけ合いでははじけたように楽しみ、秋の自然を満喫した。

「ザ・ショーたいむ」	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・コマの得意技 ・HIPHOPダンス ・読み聞かせ	パフォーマー 小学生以上 観客 どなたでも	12/22(木) 午後4時～4時20分	なし	17名	・発表する子ども達は、WAAA0でも何度も練習を重ね、本番では緊張している様子もあったが、3グループとも観客から大きな拍手をもらい嬉しそうだった。 ・子ども達の発表を見守る母親の優しいまなざしはこの事業ならではの良さとなっている。観客の中には、「自分も次回は」と意欲を示した子ども達もいて、発表者だけでなく観客側にも良い刺激となり、子ども達の可能性の広がりを感じさせる時間となった。
高校生と公園で遊んじゃおう！ 【協力】一橋高校教諭・元高校教諭	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・コミュニケーション能力をのばす ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実	・自然の物を使った工作 ・スラックライン ・どうぶつ体操 ・けん玉 ・コウモリとガ ・宝さがし	小学生	3/18(土) 午前10時30分～午後0時30分	なし	6名	・参加予定の高校生3名が不参加となり、小学生だけのプログラムになった。悪天候のため、館内で行った。 ・初めてのスラックラインや自然の物を使った工作など盛りだくさんの内容を集中して楽しんだ。 ・初対面の高校の先生ともすぐにうちとけ生き生きと感じるままに表現している姿があった。
びいおりの「ちいさな音楽会」 【協力】地域ボランティア	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 ・地域連携・人材育成の推進	・バイオリン、ヴィオラ、チェロ、クラビノーバ演奏	0歳～18歳	3/18(土) 午後4時～4時30分	なし	26名	・子育て中の保護者や子ども達にとって、身近な場所で本物の楽器や音楽にふれる良い機会となった。 ・ボランティアの中学生がプロと一緒に演奏する姿や壮大な音に憧れの目でみつめる子ども達。幼児も落ち着いてじっとそこに留まり、ほんのひと時ではあったが、非日常の空間に誰もが笑顔で満足している様子だった。 ・地域の人の力がWAAA0で音楽会という形で明確に利用者の満足度につながる時間だった。
<イベント>	目的	主な内容	対象	日時	費用	参加総数	様子・成果
知って得する「3Rってなあに？」	【新・町田市子どもマスタープラン後期】より ・体験活動ができる場の充実 ・子どもの居場所の充実 ・コミュニケーション能力をのばす	・エコ学習 ・みえるくんのごみ入れ体験	どなたでも	8月8日(月) 午後3時～4時	なし	26名	・歌や演奏、クイズやコトを交えた、楽しい学びの場となった。 ・エコに取り組む姿勢や意識が短時間でも浸透するような体験だった。 ・みえるくんのごみ体験も顔を輝かせていた。生活の中で生かしていきたいという保護者からの感謝の声もきかれた。

子どもセンターぱお 報告集利用実績シート

＜実習生・インターン・職場体験受け入れ＞

実習	受け入れ日程	学校名	人数
	6月20日～ 6月29日	首都医校	4人
	全1日		
	6月27日～ 7月16日	東京家政学院大学	2人
	全12日		
	7月17日～ 7月30日	町田福祉保育専門学校	2人
	全10日		
	8月1日 9月10日	東京家政大学	1人
	全12日		

実習	受け入れ日程	学校名	人数
	10月17日～ 11月5日	東京家政学院大学	2人
	全12日		
	月 日～ 月 日		人
	全 日		
	月 日～ 月 日		人
	全 日		
	月 日～ 月 日		人
	全 日		

＜視察・見学等＞

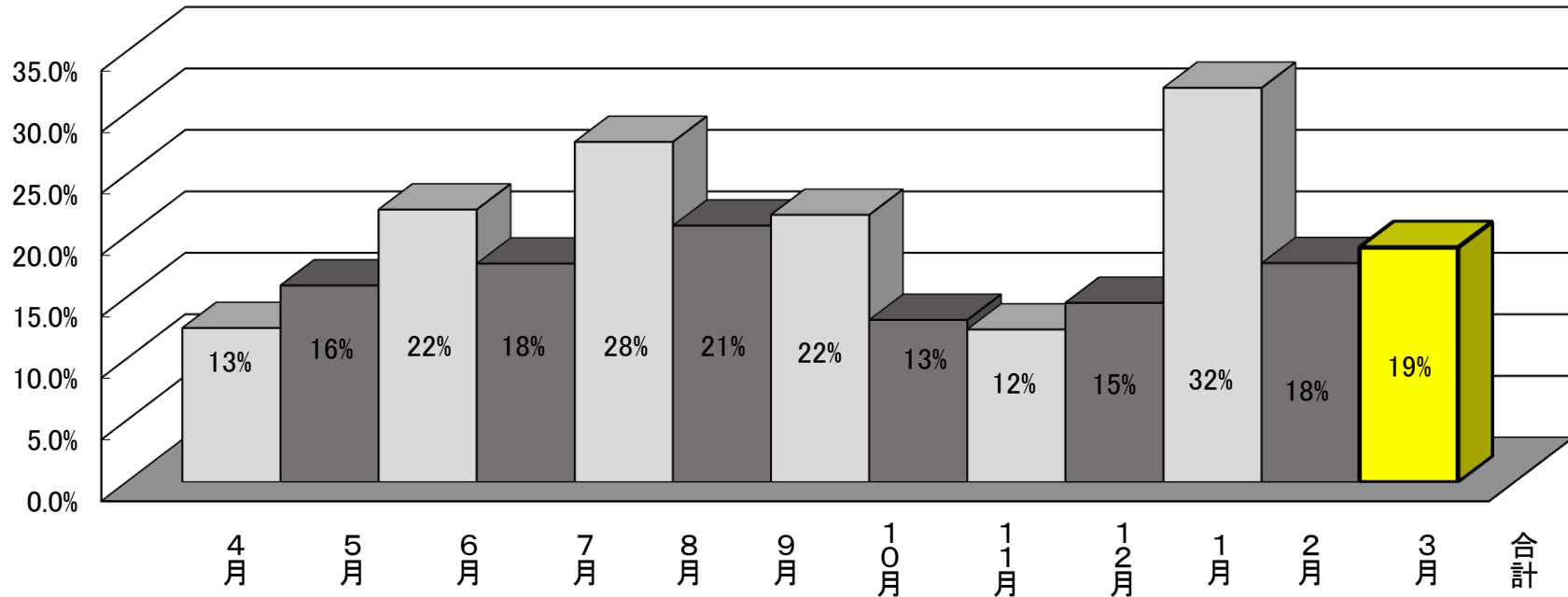
受入日	団体名	人数
11月10日	家政学院大学見学	13人
月 日		人
月 日		人
月 日		人

受入日	団体名	人数
月 日		人
月 日		人
月 日		人
月 日		人

2022年度 子どもセンターぱお スタジオ利用率

	4月平日	4月休日	5月平日	5月休日	6月平日	6月休日	7月平日	7月休日	8月平日	8月休日	9月平日	9月休日	
利用コマ数	8	7	3	16	9	20	12	10	17	17	4	21	
利用可能コマ数	80	40	70	49	93	38	74	50	78	45	75	45	
利用率	10%	18%	4%	33%	10%	53%	16%	20%	22%	38%	5%	47%	
項目	10月平日	10月休日	11月平日	11月休日	12月平日	12月休日	1月平日	1月休日	2月平日	2月休日	3月平日	3月休日	年間合計
利用コマ数	5	23	4	11	7	6	7	9	15	18	12	12	273
利用可能コマ数	75	54	65	49	68	37	65	45	63	40	90	45	1433
利用率	7%	43%	6%	22%	10%	16%	11%	20%	24%	45%	13%	27%	19%

2022年度
月別すたじお利用率(平日・休日合算利用率)



ぱっとたのしい おもいで



ぱお分館 WAAAO のひとコマ

今年も楽しかったね！



子どもスタッフ
「お楽しみ会」



集まれマジシャン「ショーたいむ」



「窓ガラス
にお絵描き」



ドミノ大会



子どもスタッフ「お楽しみ会」



わーおたい
むで手編み
のマフラー
作ったよ！
あったかい
なあ



わーおでまったり・・・



初めての
スラック
ライン



堺図書館のおはなし会



3R 推進課「3R ってなあに？」



ユニカールにちょうせん



ストレッチたいむ